

グローバル社会で活躍できる国際人を目指そう！

～米国で教育を受けているというチャンスを大いに生かし、
異文化の中での生活を楽しみながら、世界に羽ばたいてほしい。

米日教育交流協議会・代表 丹羽 肇人

2011年10月、クリントン国務長官がワシントンで行われた日米関係の会合での講演の中で、日本から米国への留学生が1997年には世界最多だったのに、現在は6位に落ち、当時の約半数まで減っていると指摘しました。また、朝日新聞社と河合塾との共同調査「ひらく 日本の大学」にて、2010年度に全国の大学が単位認定する「留学・研修プログラム」で海外に送り出した学生は全体の2%に過ぎないこともわかりました。最近の若者は内向き志向であると言われていますが、それを象徴するような事実です。

一方で、文部科学省では「国際化拠点整備事業(グローバル30)」というプロジェクトによって、海外から優秀な留学生を獲得したり、国際的に活躍できる人材を育成したりする大学の取り組みを支援しており、いくつかの大学・学部において英語のみで学位の取得できるシステムなどが生まれています。また、日本の企業でも海外の優秀な学生を獲得しようという動きが活発化しており、日本国内でのグローバル化が進みつつあります。

内向き志向と言われる若者は、大学入試においては少子化の影響で選ばなければどこかに入学できるという高入学率時代に入試を迎え、受験戦争の荒波からは解放されました。1990年前後の受験生の3人に1人はどこにも入学できないという厳しい時代とは格段の違いです。しかし、長引く不景気が企業の新入社員採用に大きな影響を与え、大学卒業予定者の5人に2人の就職が内定していないという厳しい状況におかれています。

このような厳しい就職戦線において、大学卒業予定者の就職内定率が100%という大学があります。それは秋田県にある公立大学法人国際教養大学です。この大学ではすべての授業が英語で行われています。また、総学生数は820人(2011年4月現在)と小規模でありながら、25か国から163人の留学生が在籍し、172人が米国をはじめ26か国に留学するという実績(2010年秋学期)があり、日本の大学でありながら外国語の習得と異文化吸収にもってこいの環境があります。(他にも早稲田大学国際教養学部や上智大学国際教養学部にも同じようなシステムがあります。)

ところで、このような環境は、ここ米国で暮らす子どもにとっては日常生活そのものです。つまり、米国で教育を受けている子どもは、日本にて就職活動を行う際に有利に働く経験を積んでいるということになります。日々の現地校での授業についていくのは苦勞が多いと思います。また、なかなか英語力が伸びないという悩みも抱えているかもしれません。しかし、日本で生まれ国内のみで育った子どもと比べれば、格段の差のある英語力を身につけられるはずで、また、多種多様な人種が暮らす米国の学校にて学び、自然に異文化を吸収しているはずで、それと同時に、母語である日本語力と日本的なマナーを身につけていれば、まさに鬼に金棒です。

英語力の伸長と異文化吸収のためには、米国での生活を楽しむことが大切です。現地校では友人をたくさん作り、クラブ活動や課外活動にも積極的に参加して、授業以外でも英語を使うような場を築くことをお勧めします。一方で、気になる帰国後の入試のために学習塾などで入試問題を解く技術を学ぶことも重要です。しかし、教科書を通じて日本語でのコミュニケーション能力を育成し、学年相応の考え方やものの見方ができるようにすること、そして学校という集団生活の中で協調性や人間関係など(=日本的なマナー)を身につけることはとても重要です。これらは現地校でも学べるのですが、日本の社会で通用する人材としての資質を養うには、文部科学省からの派遣教員の指導の下で日本の学校に準じた教育を行っている補習授業校で学ぶことが望ましいでしょう。

いずれにせよ、米国で教育を受けている子どもは、就職難の荒波も乗り越え、グローバル社会で活躍できる国際人になれる環境にいるのです。せっかくなのでチャンスを大いに生かして世界に羽ばたいてほしいものです。



執筆者のプロフィール

名古屋・東京の河合塾で十数年間にわたり、大学入試データ分析、大学情報の収集・提供、大学入試情報誌「栄冠めざして」などの編集に携わるとともに、大学受験科クラス担任として多くの塾生を大学合格に導いた。また、現役高校生や保護者対象の進学講演も多数行った。一方、米国・英国大学進学や海外サマーセミナーなどの国際的企画も担当。1999年に米国移住後は、CA、NJ、NY、MI州の補習校・学習塾講師を務めた。2006年に「米日教育交流協議会(UJEEC)」を設立し、日本での日本語・日本文化体験学習プログラム「サマー・キャンプ in ぎふ」など、国際的な交流活動を実践。さらに、河合塾海外帰国生コース北米事務所アドバイザーとして帰国生大学入試情報提供と進学相談も担当し、北米各地での進学講演も行っている。また、文京学院大学女子中学校・高等学校北米事務所アドバイザー、デトロイトりんご会補習授業校講師も務めている。